

災害時できるかもアンケート2024 アンケート回答を読もう



はじめに

センターでは、近年頻発している自然災害に備えて、日頃の活動が災害発生時やその後にどんなふうにかされるかをテーマに、いざという時のためのネットワーク作りを目的としたアンケートを実施しました。

災害時には、災害発生後すぐに現地で行うボランティア活動だけではなく、「避難所で子ども達に本の読み聞かせをする」「ペットの世話をする」などのボランティアも必要となります。

センターの登録団体さんをはじめ、各市町センターの登録団体の中で80団体が回答にご協力くださいました。

このアンケートにお答えいただくことで、自団体がもしもの災害後、どのように活動できるのか、団体内部での意識共有も含めてお考えいただく機会になればと願います。

簡単ですが、ご回答の様々なお声をご覧いただき、NPOのチカラを集結できるきっかけとして活かしていければと考えています。

調査主体：やまぐち県民活動支援センター

調査方法：webアンケート（メール・紙媒体の二次元コード）

調査期間：2024年9月10日～9月30日

調査対象：センター登録団体・県内NPO団体

回答数：80団体（法人格無関係）

1.「災害時できるかもアンケート」の問いを振り返る

1.団体名

2.記入者名

3.連絡先（メールアドレス）

4.災害時「自分たちの団体、あるいは自分はこのことだったらお手伝い
ができるかも・・・」というものがあれば、☒をお願いします)

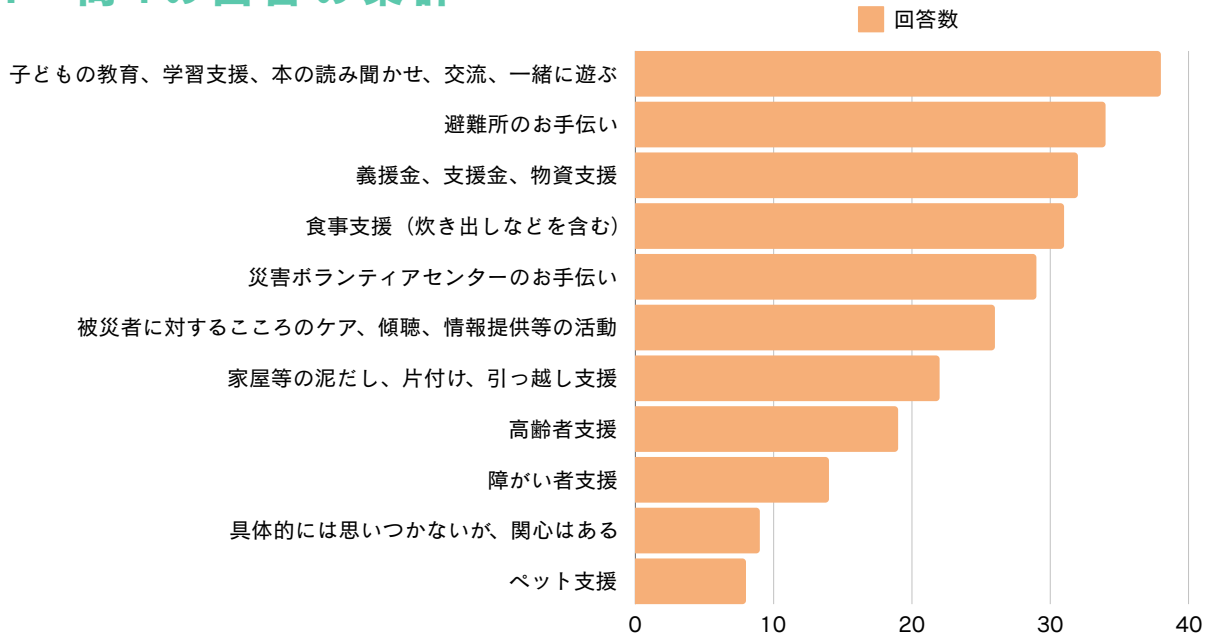
（複数回答可）

「必ず」ということではなく、「これならできるかも」という程度で構いません。

- ☐ 義援金、支援金、物資支援
- ☐ 食事支援（炊き出しなどを含む）
- ☐ 家屋等の泥だし、片付け、引っ越し支援
- ☐ 被災者に対するこころのケア、傾聴、情報提供等の活動
- ☐ 子どもの教育、学習支援、本の読み聞かせ、交流、一緒に遊ぶ
- ☐ 高齢者支援
- ☐ 障がい者支援
- ☐ ペット支援
- ☐ 避難所のお手伝い
- ☐ 災害ボランティアセンターのお手伝い
- ☐ 具体的には思いつかないが、関心はある
- ☐ その他：

5.災害時や災害後に力を発揮できそうなことで、
「団体の中に〇〇が得意な人がいる」「〇〇の専門家を知っている」などの
情報があれば教えてください。（自由記述）

2. 問4の回答の集計



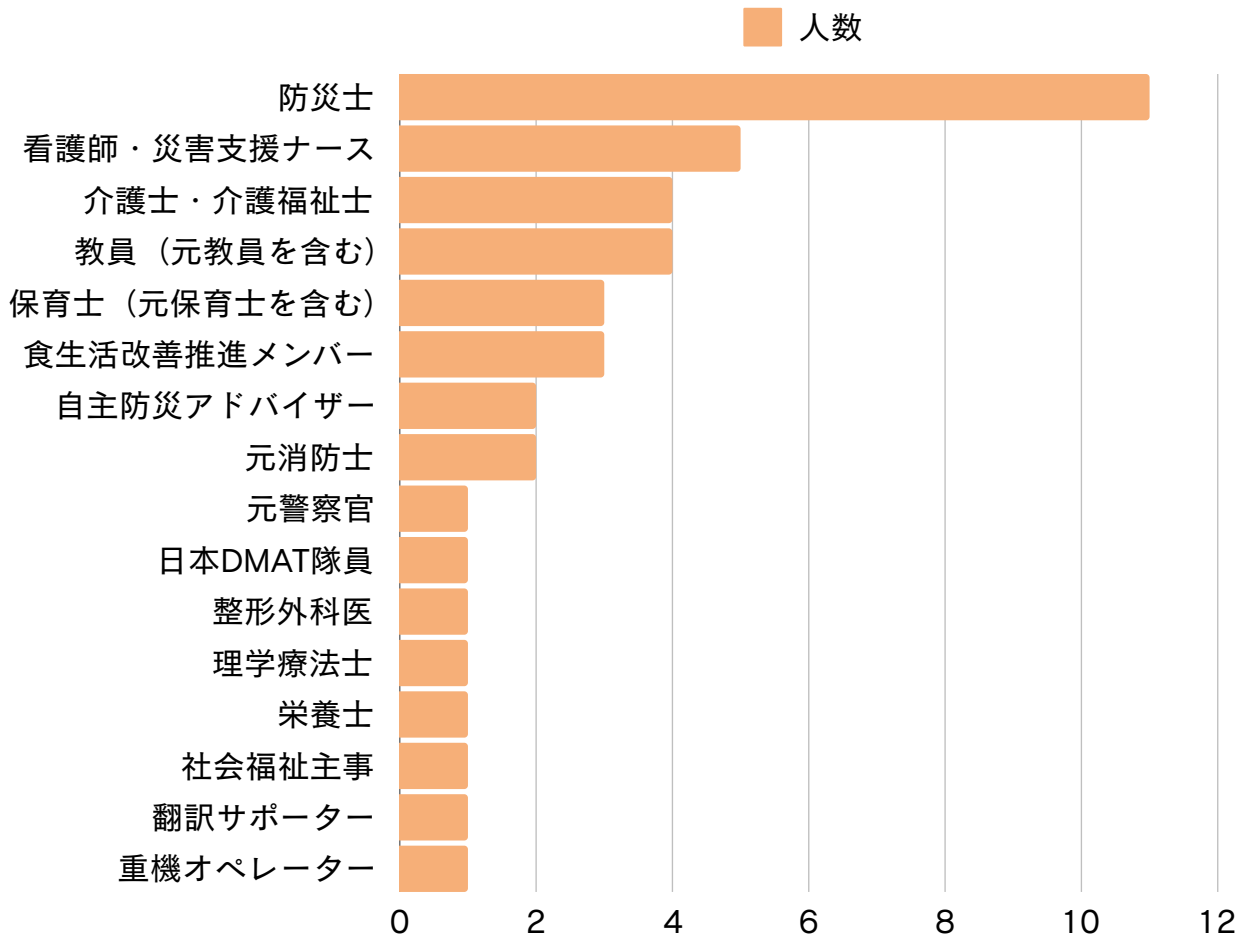
※回答の多い順に表を作成しています。
(複数回答)

「その他」で、下記のようなお声をいただきました。

- ・特に決めていない
- ・できる範囲で支援活動をする
- ・思い出の品の救済活動(写真など) 慰問演奏をさせていただけたらと思います。
- ・在住外国人(留学生家族含む)への支援
- ・多言語での災害情報等の提供や相談対応など。山口県からの要請を受けて「山口県災害時多言語支援センター」を設置した場合には、市町・関係機関等とも連携しながら、①多言語による災害情報等の提供②外国人からの問い合わせ・相談への対応③避難所巡回④市町・関係機関との連携やサポーター等への協力依頼と連絡調整などの活動を行います。
- ・できることはない
- ・地震や災害時の斜面安定対策の実務化を進める(当会として)
- ・全員が防災および避難所等の運営のスペシャリスト
- ・パソコンによる情報集計、加工等
- ・車いす使用者のサポート、また車いす介助のサポートなど
- ・災害時に備え 地区の避難場所までのコースを歩くことで経路・時間・脚力を養う
- ・映像配信
- ・集避難所等の集団の中にいることがしんどい不登校やひきこもり状態の子どもたちや青年たちの支援
- ・テント設営
- ・会員の平均年齢が高くどうなるかわかりません。
- ・宿泊所を運営しているので ボランティアの方の宿泊を支援できる
- ・活動拠点であるサードプレイス:フォーラム杜屋での被災者受入れ
- ・外国人住民のサポート(やさしい日本語通訳など)
- ・避難可能な部屋あり、調理室あり
- ・台湾地震で、被災者に対して、温かいお茶を出したり、マッサージ付きカウンセリングなど台湾の国民性の高い支援がありました。が日本では災害が多いがこのような支援はあまり実施されていないと思います。
- ・平均年齢が75歳と高く、よく分からない。

3. 問5の結果分析

各団体内で、下記のような資格・スキルをお持ちの方を教えてくださいました。

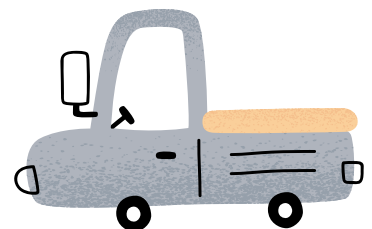


設備や資源面の強みもいろいろ！！



4WDの軽トラック
アマチュア無線機で通信
簡易ソーラー発電
ソロキャンプ用品
ドローン撮影
宿泊サポート

などなど・・・



アンケートに回答いただいた団体さんの特技

身体の支援

- ・ ストレッチや体操

食支援

- ・ 調理
- ・ 温かい河豚汁の提供
- ・ フードバンク運営（食品提供）
- ・ こども食堂の手伝い
- ・ 食生活改善メンバー
- ・ 食アレルギー相談



子ども支援

- ・ 子供と遊ぶ
- ・ 学ばせる
- ・ 読み聞かせ
- ・ 紙芝居

外国人支援



心の支援

- ・ 心のサポート
- ・ 傾聴
- ・ カウンセリング



障がい者支援

ボランティア支援

- ・ . . . ボランティアのネットワーク
- ・ ボランティアの研修・体験イベント・講演・出前授業など
- ・ ボランティアの防災訓練の実施

インフラ整備

- ・ . . . 機械での泥だし等支援
- ・ 未舗装の現地にバイクで入ることができる
- ・ トンネルに関するアドバイス

回答者の活動分野（複数回答）

（％）

子ども	まち	社会教育	学芸ス	保・医・福	環境	地域安全	NPO支援	国際協力	経済
14	11.9	11.5	10.2	8.5	7.2	5.5	4.7	4.3	4.3
人権	男女	災害	科学	情報化	観光	職能	中山間	消費者	
3.8	3.0	2.6	2.6	2.1	1.7	1.3	0.9	0	

日頃の活動内容は？

自然体験活動

- 自然体験活動
- 野草山菜調理
- おにぎりワークショップ
- 缶詰食材での調理
- ピザ作り
- 調理
- アウトドア
- ソロキャンプ
- ロープワーク
- 救急法



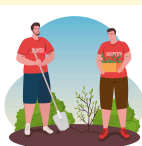
子ども

- 子供と遊ぶこと・学ばせること
- 読み聞かせ
- 手遊び・リズム遊び
- おもちゃ作り
- 認可外保育園運営



中間支援

- ボランティアコーディネート
- 災害ボランティアセンター運営
- ボランティア団体・NPO団体の調整
- 募金活動
- 震災地ボランティア経験あり



語学

- 通訳・翻訳サポーター
- 韓国語
- 英語が堪能

心と体のケア

- ストレッチや体操

通信

- 通信設備
- 映像配信
- 防災教室にてやまぐちGISひろばと協働

土木

- バイクでの移動
- 重機操作
- ドローン操作
- 建設会社



☆アンケートにお答えいただいた情報は、集計および分析に利用するほか、防災に関するセミナーや交流会のご案内に使用させていただきます。
他の目的で使用することはございません。

やまぐち県民活動支援センター
災害時できるかもアンケート2024

オンラインカフェ（交流会）のお知らせ



内容：アンケートのお答えと一緒にみてみよう♪

万が一の災害時・・・

「こんなことなら協力できるよ」と、80団体さんからいろいろな
得意技のご回答をいただきました。

オンライン上で、センタースタッフがご紹介します。

アンケート回答くださった皆さん、回答できなかった団体さん
もぜひご参加ください♪ 申込み不要・入退室も自由です。

Attention!



①10月29日（火）14：00～
19：30～



②10月30日（水）14：00～
各回30分程度OPEN予定です

参加 Zoom ミーティング

<https://us02web.zoom.us/j/83720889100?pwd=j7kiT6ePjayDT2mXoUVhg6oAQfhkwn.1>

ミーティング ID: 837 2088 9100

パスコード: 008718

「災害時できるかもアンケート2024 回答まとめ」
やまぐち県民活動支援センター

2024年10月吉日

連絡先 ✉ yamas@kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp

